

# GLOBAL POWER CITY INDEX

RESEARCH

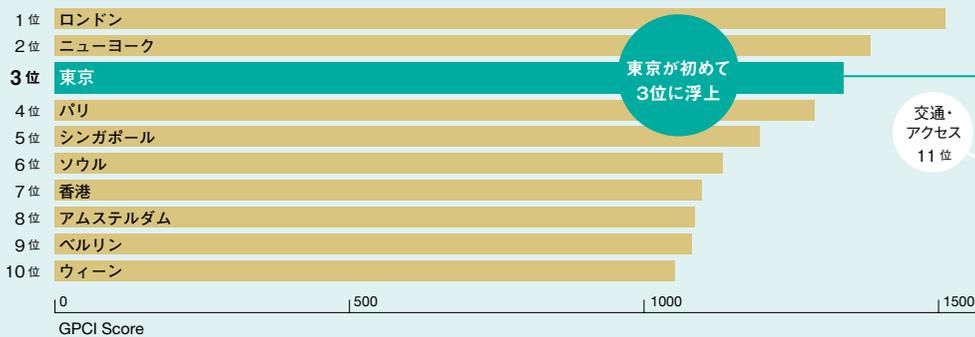
## 東京がパリを抜き、2008年の調査開始以来、初めて3位に浮上!

地球規模で展開される都市間競争の中で、世界中から人々や企業を魅きつけている都市はどこだろう? 2016年版「世界の都市総合力ランキング」の一端から見えてくる各都市の「磁力」に注目してみよう。

世界の都市総合力ランキングとは?

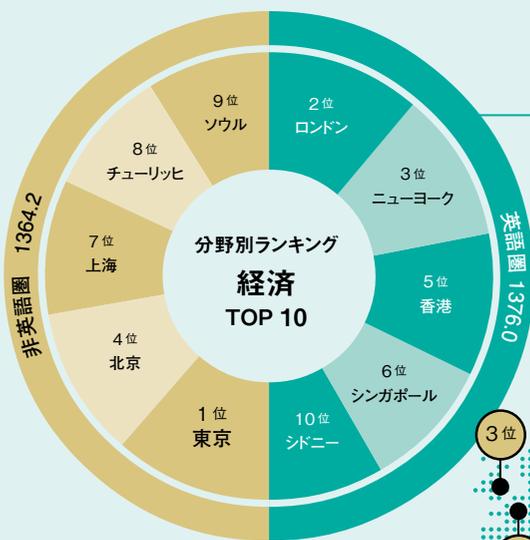
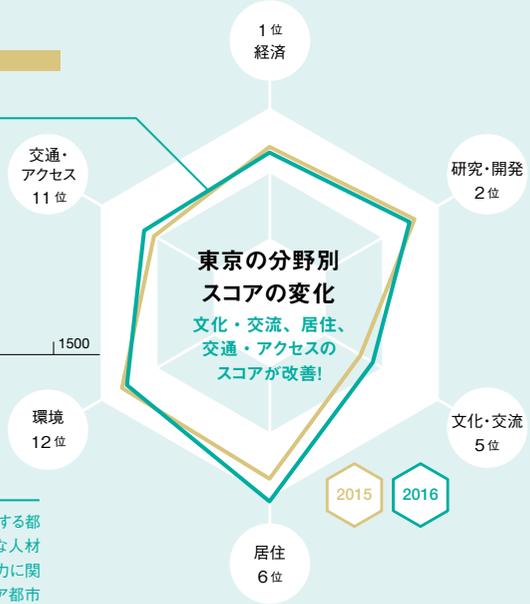
財団法人 森記念財団都市戦略研究所 (所長: 竹中平蔵) が、2008年より調査・発表し続けているランキング。世界を代表する主要42都市を選定し、都市の力を表す主要6分野(経済、研究・開発、文化・交流、居住、環境、交通・アクセス)に加え、都市活動を牽引するグローバル・アクター(経営者、研究者、アーティスト、観光客)と都市の「生活者」の5つのアクターの視点に基づき、複眼的に各都市の総合力を評価する。

総合ランキング TOP 10



東京の分野別スコアの変化

文化・交流、居住、交通・アクセスのスコアが改善!



英語圏と非英語圏は接戦!?

上位10都市のうち5都市が英語を公用語とする都市であり、これらの都市は経済自由度や優秀な人材確保の容易性など、ビジネス環境や市場の魅力に関する評価が高い。一方、非英語圏のうちアジア都市は、世界トップ300企業や従業者数など、経済集積や人的集積に関する評価が高い。

上位10都市の半分はアメリカ



# GLOBAL POWER CITY INDEX 2016

アクター別ランキング

